

# わすかー〇センチのお雛様 芥子雛

慶応二年（二八六六） 松井文庫所蔵

毎年松浜軒で開催している「松井家の雛祭り」では、さまざまな姿のお雛様と精巧なミニチュアの雛道具を展示しています。展示室では豪華な三対の古今雛が目を引きませんが、今回は小さなお雛様（写真）にぜひ注目してください。

写真のお雛様は、慶応二（二八六六）年、松井家十一代・盈之公が、かぞえ三歳になった長女・こう姫の節句を祝って江戸より調達したものです。高さ二〇センチにも満たない小さなお雛様ですが、その佇まいから表情まで丁寧に作られていることが分かります。

このような二〇センチ未満の小さなお雛様は、「芥子の種のように小さい」という意味で「芥子雛」と呼ばれ、江戸時代中期以降作られるようになりました。そのきつかけとなったのが、幕府老中・松平定信によって行われた「寛政の改革」です。このとき、風俗取り締まりや儉約令の一環として、雛人形の大きさや華

美さにも規制が設けられました。庶民の雛人形は八寸（約二四センチ）以下と決められ、役人たちは物差しをもつて雛人形を



芥子雛 慶応2年（1866） 松井文庫所蔵  
（男雛）高さ9.3cm 幅13.2cm 奥行7.8cm  
（女雛）高さ8.2cm 幅16.0cm 奥行13.0cm

## ■松井文庫展示案内 [企画展示]

### 「松井家の雛祭り」「肥後のやきもの」

- 会 場 松浜軒内 松井文庫展示場
- 会 期 開催中～3月28日(日)まで  
午前9時～午後5時  
(入園は午後4時30分まで)
- 閉園日 毎週月曜日  
(祝日の場合はその翌日)
- 観覧料 一般500円  
小中学生250円

問合せ 松浜軒／松井文庫 ☎ 33-0171

本品のような江戸の芥子雛や京都の古今雛など、当時人気を博した雛人形が揃って伝来するのも松井家の雛人形の特徴です。この機会にぜひご観覧ください。

八代市立博物館未来の森ミュージアム

学芸員 宮原江梨

検め、多くのものが摘発されたようです。しかし、このような政策はかえって商人たちに火をつけたらしく、小さいものなら贅を尽くしても目立つまいと、小さくても高級な雛人形を作って販売し、人気を博したといえます。

写真の雛人形は、贅を尽くしたものとはいえませんが、体のサイズに合わせて小さな文様を織り込んだ上品な着物が印象的です。

## 参加者募集

# 「豪雨災害 復興祈願」 第27回 九州国際スリーデーマーチ2021

とき 5月22日(土)、23日(日) 雨天決行

ところ 桜十字ホールやつしろ

コース 22日・・・40km・20km・10km・5km・五家荘(10km)  
23日・・・30km・20km・10km・5km

### 【関連イベント】

24日・・・肥薩おれんじ鉄道「せっかくウォーク」

申込期間 3月15日(月)～5月20日(木) 正午  
※申し込み時に参加費が必要  
※郵便振り込み、スポーツエントリーからの申し込みは4月23日(金)締め切り



申込方法 ①郵便振り込み（参加申込書兼振込用紙に必要事項を記入）  
②直接申し込み（参加申込書と参加費を実行委員会事務局まで）  
※申込書は実行委員会事務局、八代観光案内所などにあります。  
③スポーツエントリーからの申し込み（パソコンなど）  
(1) パソコン・スマートフォン（24時間）  
(2) Famiポート（ファミリーマート店内）

ホームページ <http://www.kinasse-yatsushiro.jp/3day-march/>

問合せ 九州国際スリーデーマーチ実行委員会（千丁支所3階 イベント推進課内） ☎ 33-4132



※令和2年7月豪雨災害や新型コロナウイルス感染症の影響により、例年より会場や日数が変更となっています。詳しくは、電話または公式ホームページで確認ください。※今後の情勢によっては、大幅に変更や中止となる場合があります。

## 今月の紙

令和2年7月豪雨により被災した国道219号、県道、市道、橋梁については、国が権限代行により災害復旧作業を進めています。本市の橋梁では、深水橋、坂本橋、鎌瀬橋が流出したため、急ピッチで復旧作業が進められています。（表紙は深水橋の橋脚撤去工事の状況）